



一中生が躍動した体育大会 クラスの絆が深まりました！



少し肌寒さを感じる10月7日(火)、「一中の情熱は41.8℃超え!? 3学年で架けるスマイルブリッジ」の大会スローガンのもと、本校校庭で体育大会が開催されました。

前半の個人種目では、これまで鍛え上げた身体能力を発揮し、レベルの高いレースや試技が行われました。また、後半は全員が参加するクラス対抗種目が行われ大変盛り上がりしました。

クラス対抗種目の「全員リレー」では、クラスの勝利を目指して自分の力を出し切ろうと生徒が本気で走り、どの学年のレースもデットヒートが繰り広げられ、とても見応えがありました。

また、同じくクラス対抗種目である「長縄」は、跳ぶ回数を一回でも多く増やしたいという思いを持ちながらも、長縄が苦手な級友に対して、「せーの、せーの」の掛け声で縄に入れるよう応援するなど、クラス全員が温かく見守る様子も見られました。

生徒のたくさんの笑顔があふれる中、一人一人が持てる力を発揮し、クラスの絆が深まった素晴らしい体育祭となりました。

保護者や学校評議員の皆様には、朝早くから駆けつけ、暖かいご声援をいただきありがとうございました。

生徒は、既に10月31日(金)に行われる合唱コンクールに向けて始動しています。きっと、素晴らしいハーモニーを聞かせてくれることと信じています。是非ご都合をつけて参観いただければと思います。



【齋藤 有 生徒会長による選手宣誓文】

宣誓、私たち一中学生は、今大会、日本一を記録した41.8度を超える情熱で、競技、応援、運営に全力を尽くします。そして、スマイルで学年の壁を壊し、心をつなげて楽しみます。

生徒一同、勝つ喜びも、負ける悔しさも、仲間と分かち合い、かけがえない青春の1ページとなるような、最高の体育大会を作り上げることを誓います！



新しい第一中学校のリーダーが誕生しました！

10月2日(木)、新しい生徒会役員を選ぶための立会演説会と選挙が行われ、1年6名、2年7名の生徒が立候補しました。立会演説会では、それぞれの候補者が「こんな学校にしたい」、「こんなことをやりたい」と、一中をよりよい学校にしたいという想いを存分に主張してくれました。一中のことを真剣に考えてくれる生徒の姿を見て、大変嬉しく、心強く感じました。新生徒会役員が今後、リーダーシップを発揮してくれることを期待します。



【新生徒会役員】

○ 会長 平岡 杏理

○ 生徒会常任

2年	荒木 風花、安原 健翔、金子 和樹
	柿沼 樹寛、小関 千晴、對比地 俊
1年	高野 智基、石原 啓臣、湯本 杏樹